

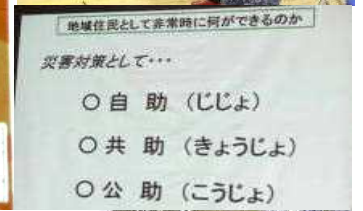


コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和4年10月19日
NO. 83



うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~



自衛隊の方々をお招きして 防災について深く考える

日本は、海と山に囲まれ、水資源が多く、四季の移ろいに彩られた豊かな自然に恵まれた国ですが、その自然がもたらす災害に関するニュースや話題を頻繁に目にし、耳にします。

日本は、世界でも自然災害が特に多い国として有名で、日本の国土の広さは全世界の1%にも満たないのに、世界で起こる地震の2割は日本で発生しています。また、地震だけでなく津波、火山噴火、台風、洪水、土砂災害、雪害など、さまざまな種類の自然災害が日本ではしばしば発生し、その頻度や被害規模も年々増加しています。自然災害による被害額も、全世界の被害総額の2割以上を日本が占めているというデータもあるほどです。

そんな日本の、秋田県、太田地域に暮らす私たちも、近年いくつもの災害を経験しており、防災について無頓着ではられません。そこで、防災に関する知識や備える心構え、実践的な安全行動について学び、防災を自分ごととして考える機会、防災への意識を高める機会とするため、今日10月19日(水)、自衛隊秋田地方協力本部を始め、10名以上の自衛隊員の方を講師にお迎えし、防災学習を行いました。

内容は、①防災講話②体験学習でした。①防災講話は全体で実施し、「自衛隊の役割及び活動内容」「近年の主な災害派遣活動」「太田地域の災害見積」「自助、共助、公助」についての話を聞きましたが、

私たちが知らないことを多々学び、また、私たちが知らないところで自衛隊の方々がいかに大変で、日本国民のために危険と背中合わせの任務に労を惜しまず当たってくださっているのかを実感しました。

②体験学習は、3グループに分かれて、ロープワーク、止血法及び護身術、装備品[車両]展示を行いました。ロープワークや護身術など初めてのことに四苦八苦していましたが、真剣な中でも笑顔で取り組む子どもたちの姿に、防災時の実践行動を身に付け



ようとする気持ちを感じました。また、めったに見ることのない装具や車両に興味津々で、食い入るように見たり、使ったり、乗り込んだりしている子どもたちの目は輝いていました。また、自衛官の方の分かりやすい説明と軽妙なトークに引き込まれている子どもたちも数多く見受けられました。



子どもたちにとって(私たち大人も)は、とても新鮮な体験だったらしく、「来年もまたお願いします」と言った子どもの声に、この防災教室のねらいの達成を実感したところです。

